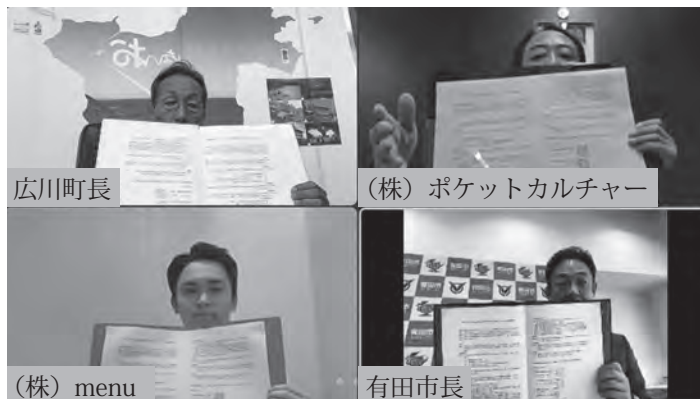


テイクアウトアプリ普及に向けた包括連携協定が締結されました

6月23日（火）、新型コロナウイルスの影響で売上げが減少した飲食店の支援を目的として、広川町、有田市、menu(株)、ポケットカルチャー(株)の4者でスマートフォンのテイクアウトアプリ「menu」の導入促進に向けた包括連携協定を締結しました。また、この締結式は、感染防止のためwebを利用したリモート方式で行われました。

このアプリは、周辺のテイクアウト（持ち帰り）が可能な店舗を地図上に表示し、注文から決済までできるシステムとなっており、手軽にテイクアウトができるツールとして、注目を浴びています。このたび、サービス対象エリアが都内から全国に拡大されることに伴い、初期費用や2年間の手数料無料など、事業者が参加しやすい条件が用意されており、コロナ禍で疲弊した地域経済の活性化が期待できることから、主旨に賛同した広川町、有田市が本事業を展開するmenu(株)、ポケットカルチャー(株)と協定を締結する運びとなったものです。

締結に際し、西岡町長は「今後、飲食店への周知や登録支援を行い、町民の皆さんの利便性の向上に寄与したい。」と述べました。



梧 陵 語 り 部

GORYO.KATARIBE. ジュニア ~ 2020 濱口梧陵生誕 200 年事業 ~

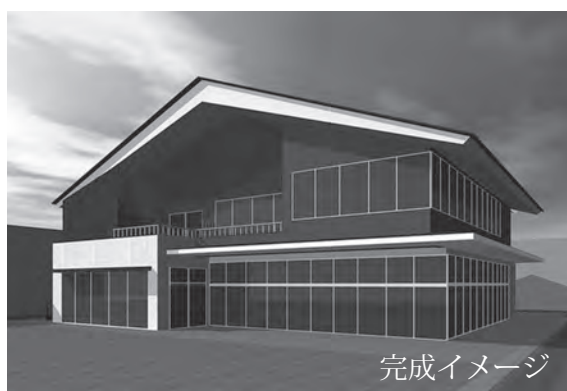


6月27日（土）「梧陵語り部ジュニア」養成講座が広川町民会館で開講されました。

この講座は広川町の偉人、濱口梧陵と津波防災の教訓を人々に伝えていく次世代の語り部を育てるため、広川町の子どもたちを対象に開講され、今年で3年目となります。

当日は「稲むらの火」や「広村堤防づくり」での梧陵の活躍や「広浦の海の男たち」「東日本大震災の手記」などを含む講座用につくられた学習書が、参加者に配られ、広小学校・南広小学校の有志12名が全12回（5・6年生）の学習を始めました。

物産販売・飲食施設起工式（地鎮祭）が行われました



完成イメージ

6月17日（水）、稲むらの火の館前において、物産販売・飲食施設新築工事の起工式（地鎮祭）が行われました。工事の安全などを祈願するため、西岡町長をはじめ関係者が出席し、鍬入れや玉串の奉奠等が行われました。本施設は、稲むらの火の館を訪れる観光客を中心に、お土産物を買っていただいたり食事をしていただく場を提供する他、地元住民の方の買い物対策としても活用が期待されています。

※令和3年度のオープン予定ですので、完成しましたらお知らせします。

寄贈していただきました



第一生命保険株式会社様



株式会社古勝様

6月12日に第一生命保険株式会社様よりマスク200枚、6月19日に株式会社ダイショウ様よりマスク850枚を寄贈していただきました。ありがとうございました。

また、7月9日には、株式会社古勝様より、車イス1台と体重計2台を寄贈していただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございました。